

～ 新生昭和 初めての沖縄～ ～ 沖縄校外教育



守礼の門をくぐり、ハイチーズ

高校2年生の良き思い出

2月14日～17日(1班)、15日～18日(2班)の日程で本校初の沖縄での校外教育が行われた。1日目は7時に羽田空港へ集合、皆元気な様子で無事出発した。最初にひめゆりの塔と資料館を見学。事前学習で学徒隊のことなどに触れてはいたものの、間近に資料を眺める生徒たちの顔つきは真剣そのもの、細かく展示を見て涙を浮かべる者もいた。次におきなわワールドで鍾乳洞やエイサーショーを見学。夜はひめゆり学徒隊として戦争を経験した方の講演を聞いた。人間が人間でなくなり、恐怖と死が本当に目の前にある体験談は全員の胸に深く残った。2日目はまず古民家を利用した家で体験学習がで



ひめゆりの塔を前に話を聞く生徒たち

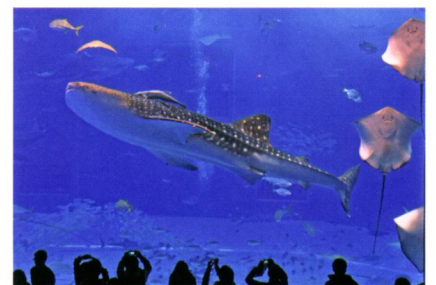
きる琉球村へ行き、午後は沖縄美ら海水族館を中心とした海洋博公園を見学。共に限られた時間の中でも、最後まで作品作りに没頭したり、歩き回ったりしており、特に青く広がる海やジンベイザメの大きさに、驚きと感動を隠せない様子であった。3日目は一日中屋外で農家・自然体験を実施。午前には各農家の世話になり、初対面でも丁寧に農作業

や自然のことを教えてくれた方々と別れる時は、互いに涙するほど離れ難く、予想以上に深い親交を結べた。午後は植樹・カヌー乗り・マンゴローブ林観察となり、皆ビショビショになりながらも楽しそうにカヌーをこぐ姿や笑顔が印象的であった。16日夜は



民族衣装をまとった生徒たち

1、2班が宿で合流、夕食後にレクを実施した。沖縄の歌も交えた歌やダンスのパフォーマンスに、会場は終始大盛り上がり。中でも完成度の高かったA組が優勝を飾り、井上校長先生から「君達はスゴイ!」とお誉めの言葉も頂いて幕を閉じた。4日目は首里城見学と国際通りの自由散策。中国文化の色濃い琉球王国の歴史に触れた後は、短時間ではあったが夢中になって買い物をし、最後まで沖縄を満喫しているようだった。本校初の沖縄での校外教育であったが、歴史・文化・環境・人など、様々な面で多くを学び体感できた。また学級の絆も深めることができ、有意義な4日間となった。



美ら海水族館でのジンベイザメ

学校行事

一生懸命に取り組んだ学校行事

■ 中学・高校

第7回 全校百人一首大会



メインアリーナでの中学百人一首大会

中学は、1月29日(土)1限の公開授業として全校百人一首大会が行われた。全員参加である。各クラスをA～Fの6グループに分け、さらに1グループを1回戦あたり2人ずつ選出する。1回戦は各学年、百枚の札を8人～10人で競う。1回戦で読まれる札は20枚。上の句を覚えていれば、早く札を取ることができる。今年は1年生も札をよく覚えており、流れがスムーズであった。札を取る度に盛り上がり、目の前で札を取られた生徒のくやしそうな顔は印象に残った。各クラスごとに取った枚数を合計し最も多かったクラスが各学年の優勝となる。今年の優勝は、1の1、2の1、2の3、3の1だった。

高校は予選を勝ち抜いたクラス代表が2月4日、決勝戦を行った。結果は2Bが優勝、1Aが準優勝だった。中高とも百人一首に関しては学年の差を感じない。来年を楽しみである。

■ 高校

生徒会主催スポーツ大会

本年度の生徒会主催の耐寒スポーツ大会が、2月7日(月)、昨年完成した体育館のメインアリーナで行われた。種目は「二人三脚」で、3分間に何組が走れたかの回数を競った。2人の息が合い猛スピードで走る組、息が合わずなかなか前に進まない組、途中でころぶ組とさまざまであったが、会場は熱気にあふれていた。
優勝 1年A組・2年H組(25回) 3位 1年I組・2年G組(24回)



メインアリーナでの2人3脚

■ 中学・高校

校内書初展



小野村さん(1E)左、大谷さん(2の1)右

1月27日(木)～29日(土)1階生徒ギャラリーにて、校内書初展が開催された。市川地区審査が1月15日に行われ、地区の代表として中2大谷彩乃さん、高1小野村優衣さんが中央席書会(1月30日実施)に出場した。代表2点の作品の他、上位から書星会賞、特選、金賞、銀賞、銅賞が決定、生徒ギャラリーには特選以上の作品が展示された。校内書初展として校長賞には中1高木夏菜恵さん、高2長谷川真子さんが輝いた。今年の課題は中1「香る梅花」中2「洋上の初日」中3「花咲く房総」高校「野鶯啼破春」。どの作品も堂々と立派であった。

2月10日(木)、放送スタジオにて、第39回校内朗読コンテスト本選が行われました。以下が入賞者です。予選を通過した中学生13名・高校生10名が本選へと進みました。

中学生	高校生
一位 3の2 三井田胡桃『ふわふわ』	一位 2H 島田 杏樹『トランジット』
二位 2の3 吉岡芽依奈『補助犬とともに』	二位 1I 坂田 遥『花野』
三位 2の5 坂本 友香『雨の日と青い鳥』	三位 2E 本島 愛美『トランジット』

講評 登場人物に応じた読みが必要、各自読み方に工夫が見られた、声よかった、など。

■ 中学・高校

第39回 校内朗読コンテスト



三井田さん(2の2)左、島田さん(2H)右

■ 高校1年

高1合唱コンクール



第1位の1年A組のみなさん

高校1年生は2月12日(土)の三・四時間に伊藤記念ホールにて校内合唱コンクールが開催された。今年度は日程の諸事情により高2・3年生は見送り1年生だけのコンクールとなった。

学年では生徒が主体となってコンクールの企画を立てたり、合唱練習の割り当て表を作ったりして各クラスの練習が始まった。当日は新しい記念ホールでの演奏とあってか、また父母席も設けられ各クラス緊張気味のなか自分たちの歌唱を立派に披露し見ごたえのあるコンクールとなった。結果は次の通りである。第1位：1A (HEIWAの鐘・指揮：高橋もも・伴奏：伊藤貴史)、第2位：1D (明日へ・清田壘・佐々木稜子)、第3位：1I (ありがとう・町田実緒・山内美祐)、努力賞：1B (3月9日・佐藤利喜・小野里拓実)・1F (虹・石垣絵美・家子莉佳)、プラボー賞：1B。

全国選抜大会

千葉国体

奨学会

春の全国選抜大会出場決定



各部活動とも新体制となり、その力を試す全国選抜大会が近く行われる。出場が決まっている部を紹介する。

●高校新体操部

第26回全国高等学校新体操選抜大会 (3月24日～26日・大阪府大阪市・大阪中央体育館)

●高校ハンドボール部女子

第34回全国高等学校ハンドボール選抜大会
(3月25日～30日・岩手県花巻市・総合体育館銀河アリーナ等)

●高校ソフトテニス部

第36回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会
(3月29日～30日・愛知県名古屋市・日本ガイシスポーツプラザ)

【Voice】 高校新体操部監督 塩屋恵美子

「今年は2連覇がかかっていますが、結果を求めるよりも昭和学院らしく自分達のイメージを大事にし、ノーマスで印象的な演技を目指します。」

【Voice】 高校ハンドボール部女子監督 笠原利宏

「昨年ベスト8の成績をあげた選手が残っているので、もう1ランク上位のベスト4を目指して頑張りたい。」

【Voice】 高校ソフトテニス部
監督 太田博勝

「2年連続7度目の出場となります。

明るく、元気に激しくをテーマに、全国ベスト4の壁を打破できるよう、メンタル面の強化を図りたい。」



シュートを放つ小畑選手 (2E)



千葉国体感謝状贈呈式

去る2月2日(水)午後3時より、市川市文化会館小ホールにおいて、感謝状の贈呈式が行われた。これは、昨年秋に本県で開催された千葉国体のハンドボール競技で、本校の完成したばかりの新体育館を、会場として提供したことによる感謝状である。当日は、井上校長先生が出席され、感謝状を受けとられた。また、千葉国体会場記念として、体育館1階エレベーターホールに、記念プレートが設置された。



奨学会報告 No.126

平成22年度 奨学会役員新年懇親会開催

平成23年1月29日(土)午後2時より、恒例の奨学会役員新年懇親会が、東京ベイ舞浜ホテル・クラブリゾートで開催された。山本徹理事長始め、井上中高校長先生、長谷見奨学会会長、役員や参事の方々の出席をいただき、盛会であった。

会は池田総務部長の司会で進行され、和やかな雰囲気の中で会は始まった。まず、長谷見奨学会会長よりご挨拶があり、続いて山本理事長、井上校長とお言葉をいただいた。その後、参事の竹内清海氏より来賓のご挨拶をいただいた。どの方からも、創立70周年を迎え、新校舎も完成し、平成23年は



新生昭和学院を構築して行くのだという、力強い意気込みが感じられた。そして、松丸勝美参事の乾杯の首頭で、宴会となった。歓談では、途中で抽選会が入り、場の雰囲気を盛り上げたり、出席された奨学会役員同士で親交の和を深める和やかな笑い声が、会場狭しと響き渡っていた。会も終わりに近づき、平山勝参事による威勢の良い中締めで、今年度の役員新年会は御開きとなった。

この会を通して、奨学会役員の方々が、真剣に子供たちの教育に取り組み、昭和学院の発展を心から願っていることが、痛切に感じられた。



合格速報

生徒会

バトン部

ボランティア活動

主な合格校一覧 2月24日現在

四年制大学	東京保健医療大学 1	桐蔭横浜大学 2
千葉大学 1	東京電機大学 2	鎌倉女子大学 2
公立はこだて未来大学 1	了徳寺大学 2	東京情報大学 2
東京理科大学 1	昭和女子大学 1	
明治大学 1	大妻女子大学 2	短期大学
立教大学 1	和洋女子大学 4	昭和学院短期大学 5
中央大学 1	日本女子体育大学 2	大妻女子大学短期大学部 1
法政大学 3	東京女子体育大学 1	亜細亜大学短期大学部 1
日本女子大学 1	亜細亜大学 2	淑徳短期大学 1
東邦大学 6	帝京大学 2	千葉経済大学短期大学部 1
東京農業大学 2	国士舘大学 4	戸板女子短期大学 1
國學院大学 3	千葉工業大学 4	自由が丘産能短期大学 1
明治学院大学 3	帝京平成大学 10	
順天堂大学 2	流通経済大学 4	専門学校
日本大学 7	明海大学 7	国保松戸市立病院 附属看護専門学校 2
東洋大学 7	大正大学 1	杏林大学医学部 附属看護専門学校 1
駒澤大学 2	立正大学 1	東京女子医科大学 看護専門学校 1
専修大学 2	聖徳大学 3	千葉医療センター 附属千葉看護学校 1
武蔵野美術大学 1	麗澤大学 1	大原簿記法律専門学校 2
武蔵野音楽大学 1	淑徳大学 2	東京アナウンス学院専門学校 2
清泉女子大学 1	目白大学 2	東京コミュニケーションアート専門学校 2
二松学舎大学 1	東京福祉大学 1	
武蔵大学 1	城西国際大学 1	
文教大学 2	文京学院大学 2	
神田外語大学 3	千葉商科大学 3	

合格者の横顔



①3A理系 富永偉吹②東京理科大学（理学部）・中央大学（理工学部）・明治大学（理工学部）・立教大学（理学部）・東邦大学（理学部）一般入試③夏以降に演習やるために1学期に数Ⅲの先取り学習をした。化学は暗記量が多いので、2年3学期に始めた。④（部活引退後）平日7時間 休日11時間⑤理科特に化学は暗記中心で、最後の最後まで実力がつくので、ギリギリまでやる。数学は過去問を見て出題範囲を確認してそこを集中してやる。

①3A文系 岩崎小百合②法政大学（社会学部）・明治学院大学（社会学部）・文教大学（人間科学部）一般入試③暗記に時間がかかる方なので、友達とのおしゃべりを我慢してでも勉強する時間を増やした。④平日10時間、休日、16時間⑤勉強してもすぐには結果は出ないが、続ければ必ず成績は上がるので、自分を信じてがんばる。



①3B理系 柴田和恵②千葉大学（看護学部）公募推薦入試③過去問の出題傾向を参考にした小論文練習の繰り返し。医療に関する新聞スクラップ。どんな質問でも困らないよう自分の考えをまとめてからの、面接練習。④平日3時間、休日4時間⑤部活の練習のため勉強時間があまりとれなかったため、短時間で集中して勉強する。試験では何があっても冷静にいる。



生徒会 新役員紹介



新生徒会役員のみなさん

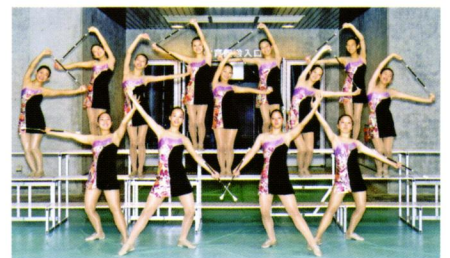
平成23年の生徒会役員は、昨年12月4日に選挙が行われ、本年1月14日の朝礼で、校長先生より任命を受け、活動を開始した。

- 会長：林 賢太郎（2E）
- 副会長：秋山 貴志（2E）・安倍 史織（1A）
- 書記：羽富健太郎（2D）・若菜 紗弓（1A）
- 会計：西垣 貴広（2H）・縄 政哉（1B）
- 会計監査：小野 翼（2D）・清水 優（1A）

【Voice】私達生徒会は、伝統ある昭和学院の校風を守りつつ、本学院の生徒皆さんが一人一人明るく楽しい学校生活がおくれるよう、私達全員で精一杯頑張ります。

第29回 バトン部発表会

二年連続で中学が、全国大会に出場しました。上級生が良く、初心者の演技をカバーしまとまりのある踊りで、観客の喝采を得ることができ



ました。今年は、国体開会式式典演技、続いて岡山の国民文化祭出演と充実した一年でした。2月27日には、第29回の発表会がたくさんの人を集めて伊藤記念ホールで開催されました。来年の、更なる発展が望まれます。健闘を祈ります。

千葉県ライトブルー少年賞・市川善行賞決まる



高山さん(左)、足野さん(中)、庭野君(右)

ライトブルー少年賞
平丸レナさん

高校生の平丸レナさん(3E)が今年度の千葉県ライトブルー少年賞に決まり、1月21日に県庁で森田健作知事から表彰状とメダルを受け取った。

平丸さんは、中学1年生からボランティアの活動に意欲的に取り組み八幡学園の訪問や重度障害者グループのお手伝いをし、ドルシアのチャリティーに参加した。3年では部長として真間祭で活躍し、ボランティア啓蒙に努めた。それにあしなが募金活動でも街頭に立ち活動をしてきた。

また今年度の市川善行賞には足野妹果さん(3D)と庭野翔太君(3B)、高山愛さん(3-1)が決まった。三人は施設等のボランティア活動に積極的に取り組んだ生徒で、こうした生徒がいることは周囲の人たちに大きな励みになっている。